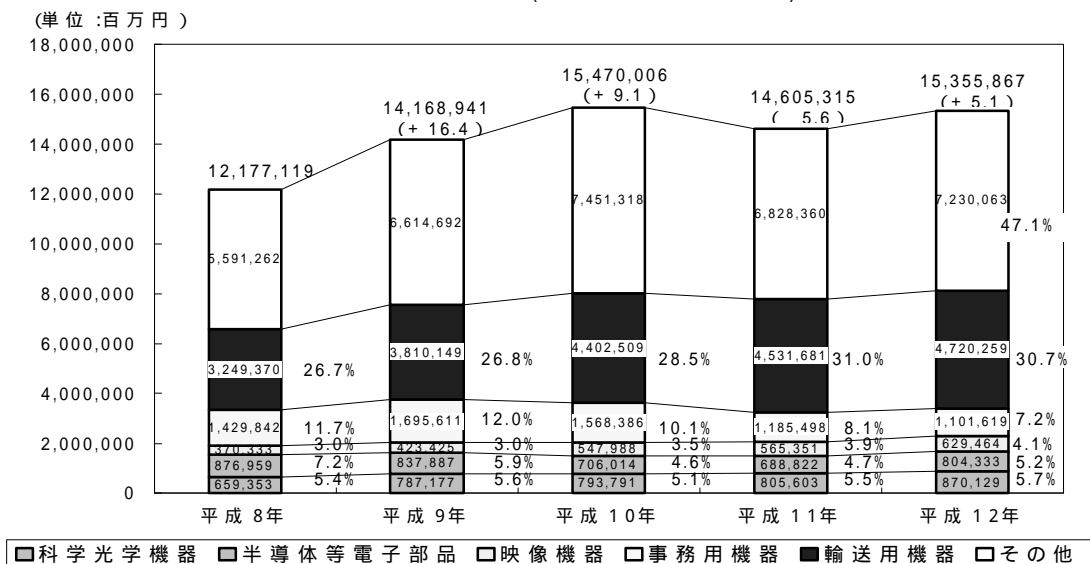


1. ここ数年の我が国からの米国輸出の状況

我が国の米国への輸出は、我が国の輸出の約3割を占め、依然として中心的な役割を占めている。米国への輸出額自体は平成11年に前年同月比5.6%減少したものの、平成12年には米国景気の上昇を受け、また5.1%増加している。

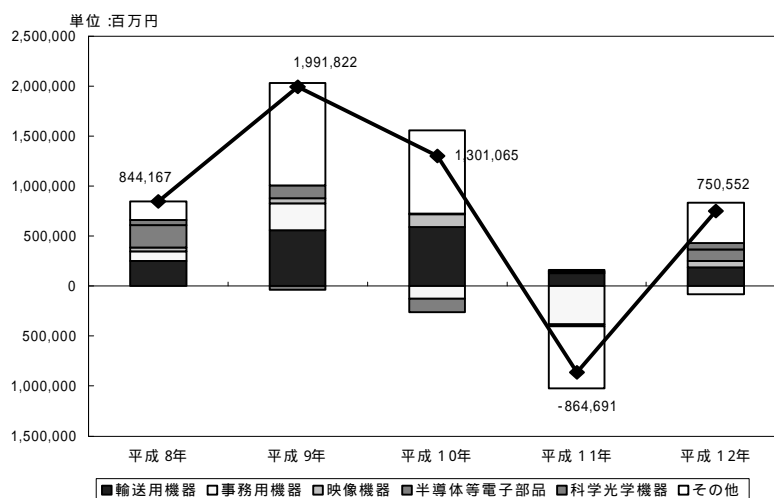
品目別にみると、増加傾向にあるのが、全体の約3割を占める輸送用機器（自動車・自動車部品等）と映像機器であり、減少傾向にあるのがコンピュータを含む事務用機器となっている。下図のとおり、平成12年の輸出額の増加には、自動車（増

対米品別輸出（平成8-12年・金額）



注)「外国貿易概況」(日本関税協会)等により情報管理部作成

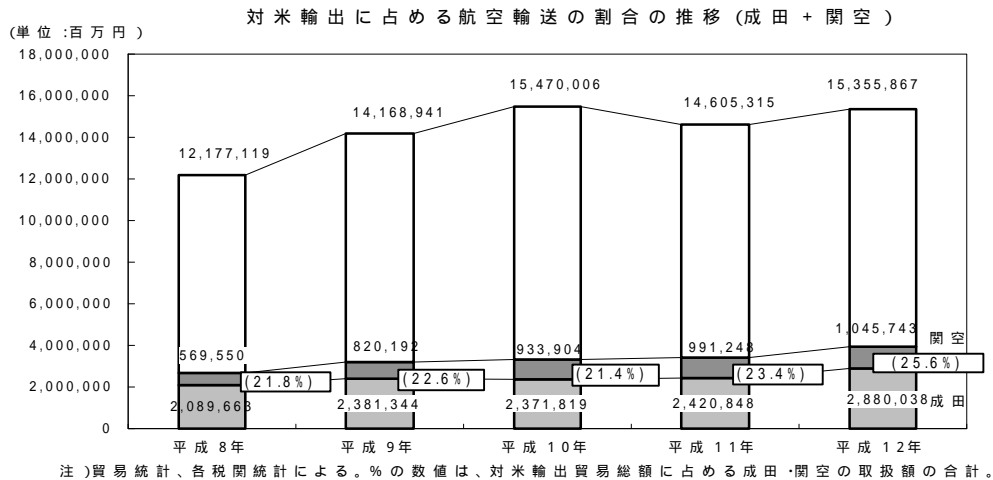
対米品別輸出(対前年増減額)



加額の 46.9%) と半導体等電子部品 (増加額の 28.8%) が大きく寄与している。

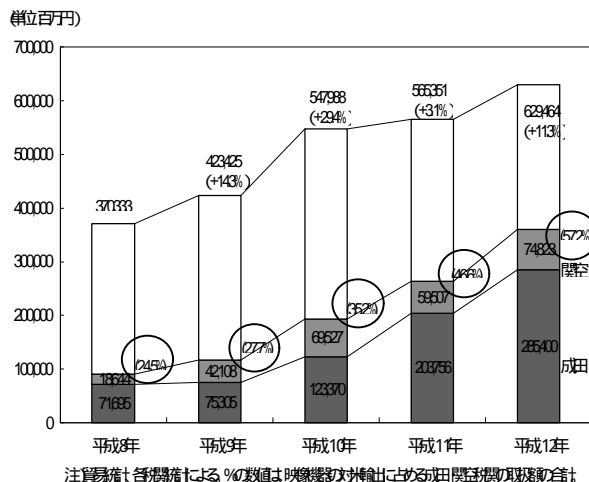
2. ここ数年の貨物輸送の動向

対米輸出に係る輸送では、金額ベースで見ると、航空輸送の割合 (航空化率、ここでは成田空港及び関西国際空港からの輸出の合計) が過去 5 年間で 21.8% から 25.6% へ約 4 ポイント上昇しており、年々航空輸送の比率が徐々に高まっている注) (参考) 全世界への輸出における航空化率 (成田 + 関空) は 25.7% (平成 12 年) 全世界への輸出における全体の航空化率は 34.7% (平成 12 年)。

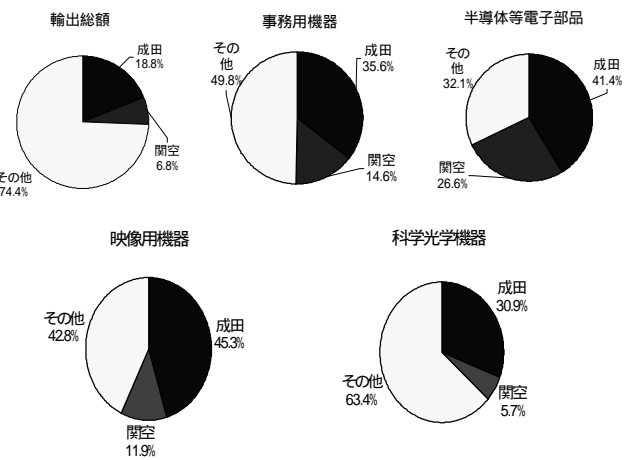


ここ 2、3 年の航空化率の上昇要因としては、映像機器 (家庭用 DVD プレーヤー、デジタルビデオカメラ等) の輸出増加と急速な航空化の進展、航空化率の高い半導体等電子部品の輸出増等が挙げられる。

映像機器の対米輸出額と航空化率の推移



金額ベースで見た対米輸出における品目別航空化率 (平成 12 年)



注) 航空化率は、成田空港と関西国際空港の数値の合計。東京税関によるサンプル調査では、我が国の輸出

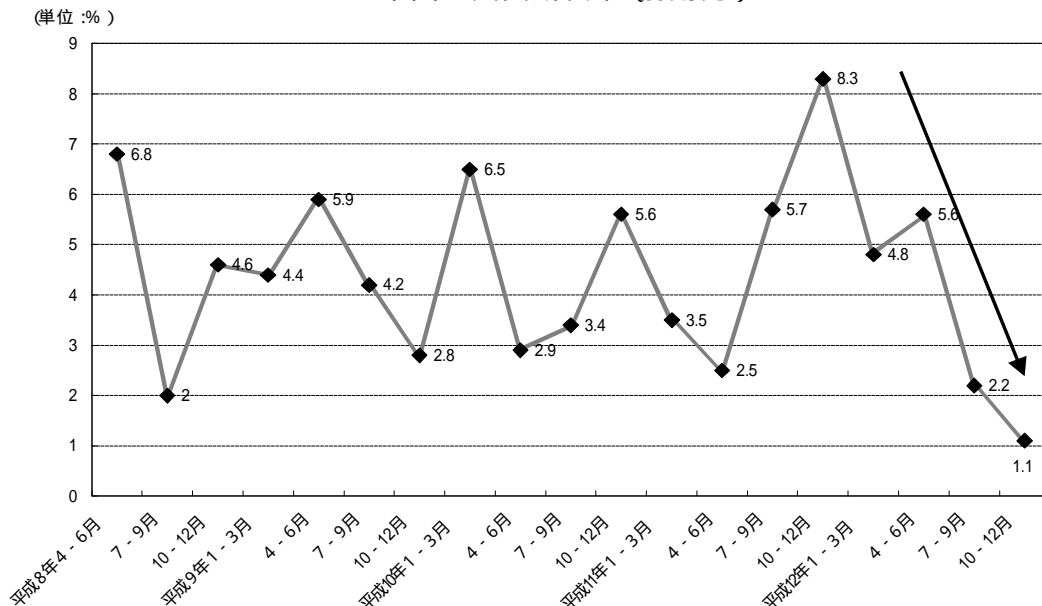
に占める両空港のシェアは91.7%（成田空港の輸出入航空貨物に係る物流動向調査結果による）。

3. 直近の米国経済と輸送の動向

米国経済の動向

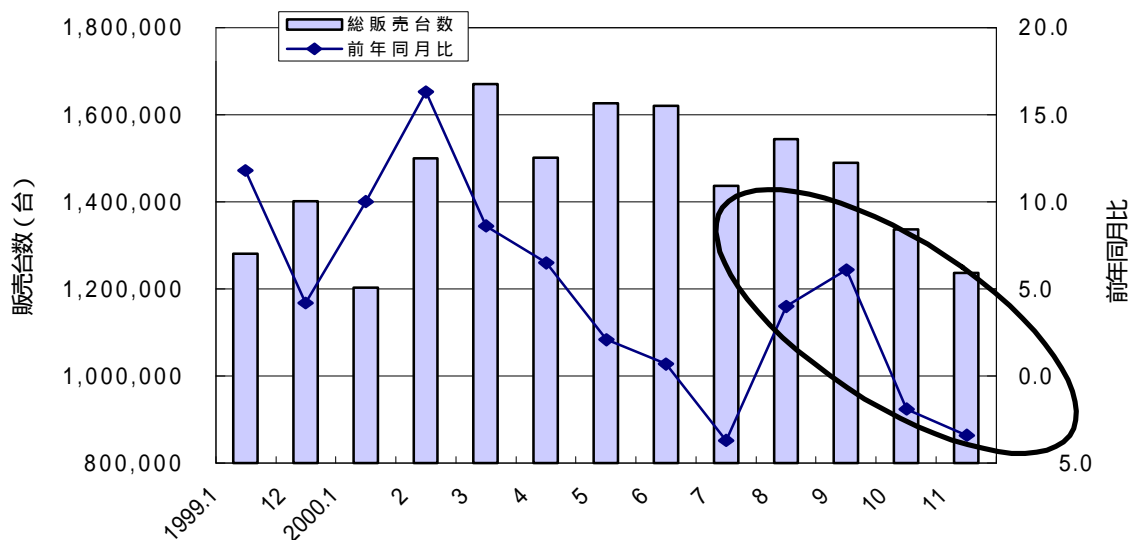
2月16日に発表された内閣府「月例経済報告」では、「アメリカ経済の減速から輸出が弱含み、」であることが指摘されているところであるが、実際に、米国の実質成長率が平成12年第4四半期で前期比1.1%となり、コンピュータや自動車の消費も伸びが停滞しつつあるなどの状況となっている。

米国の実質成長率（前期比）



注)実質成長率の基準は96年基準。四半期のデータは年率換算値。

米国自動車販売

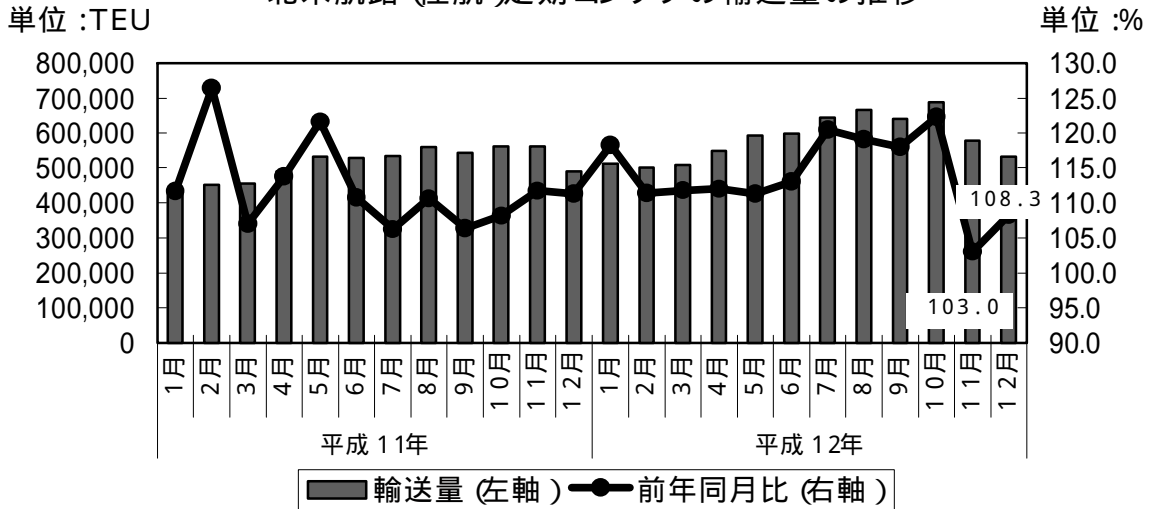


資料：米国自動車工業会

北米航路（アジア発米国行き外航定期コンテナ航路）の輸送動向

定期コンテナの北米航路の輸送量は、11年11月以来前年同月比10%台の高い伸びを示していたが、12年11月に前年同月比3%増と、極めて低い水準に落ちた。

北米航路（往航）定期コンテナの輸送量の推移

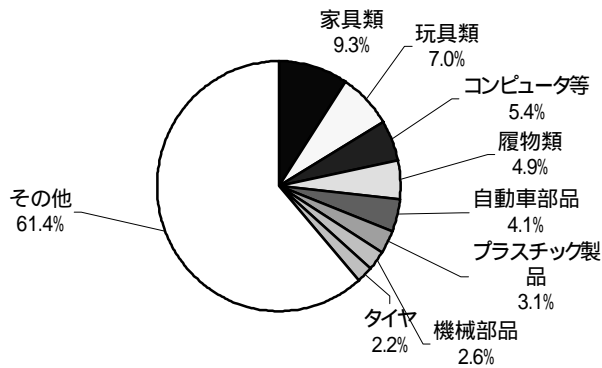


注) 米国通関統計 (PERS) をもとに Journal of Commerce社 が集計したデータによる。

北米航路の品目別構成は家具類 9.3%、玩具類 7.0%、コンピュータ等 5.4%、自動車部品 4.1%等となっており、米国自動車販売の不振、景気の急速な減速感に伴う消費の冷え込み等が定期コンテナの低い伸びにつながったのではないかと考えられる。

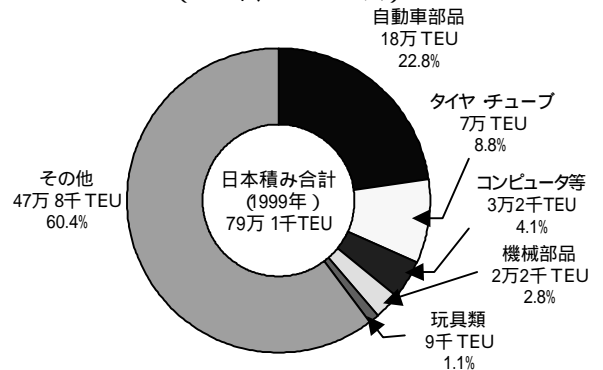
また、北米航路のうち、日本からの輸出分（日本積み）についてみると、自動車部品、タイヤ・チューブが大きな割合を占めており、米国自動車販売の不振の影響を受けやすい構造となっている。

外航コンテナ航路（米国輸出）品目別構成（1999年、TEUベース）



注) 海事産業研究所資料により情報管理部作成。

北米航路 日本積み品目別構成（1999年、TEUベース）

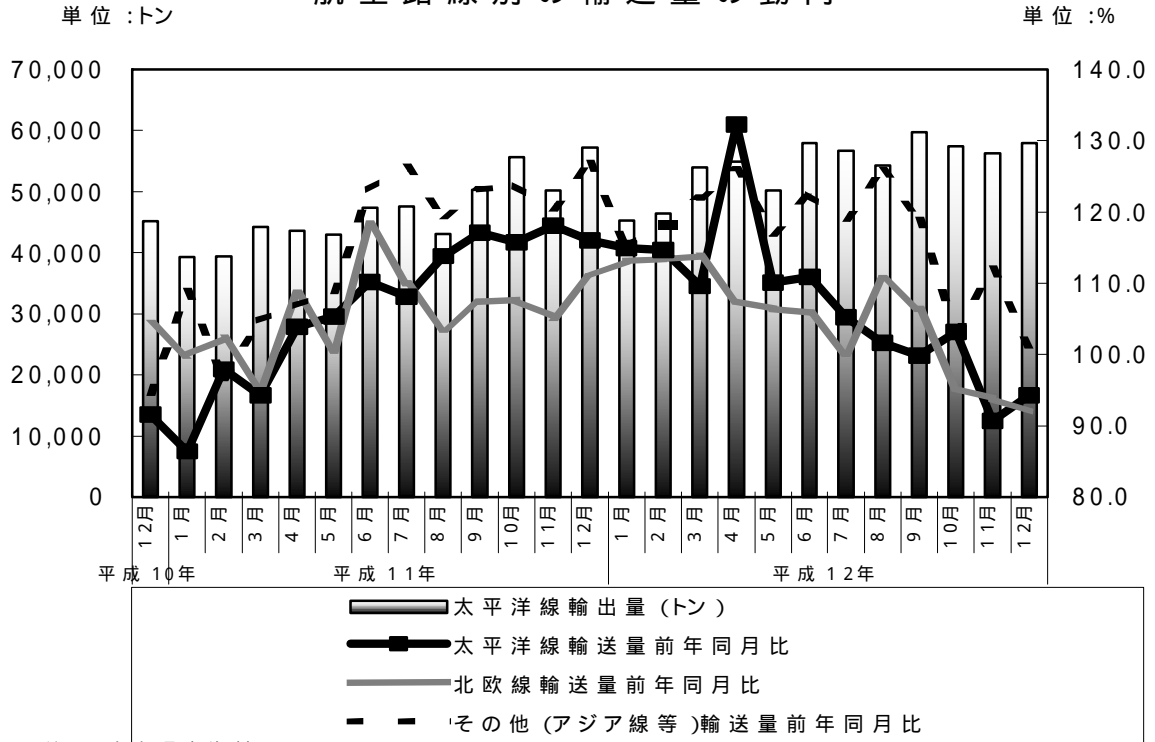


注) 海事産業研究所資料により情報管理部作成。

航空輸送の動向

方面別輸送量（トンベース）でみると、平成 11 年後半から好調だった太平洋線（北米方面）の伸び率が 11 月、12 月と 2 か月連続で対前年比マイナスとなっており、他の方面と比較すると下落の程度が大きくなっている。

航空路線別の輸送量の動向



日本からの航空輸送による輸出のうち、事務用機器、映像機器、科学光学機器、半導体等電子部品で約 45%が占められており、アメリカのパソコン市場の伸び悩み、景気の低迷感の広がりによる消費の冷え込み等が輸送量の減少につながったのではないかと考えられる。

航空による日本から米国への輸出の品目別構成
(金額 平成 12年 成田関空計)

